

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和4年度 第2回米原市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和4年12月22日（木）午後7時00分～午後8時10分
開 催 場 所	米原市役所本庁舎3階 会議室3-A
出 席 者	出席者：大谷委員長、谷口（嘉之）委員、谷口（絹代）委員、伊藤委員、川崎委員、北澤委員 事務局：生涯学習課 平山課長、中村補佐、北村主事 欠席者：上田副委員長、塚田委員、金澤委員、田中委員、日置委員、富田委員
内 容	・第1回社会教育委員会議（令和4年10月28日）の振り返り ・提言書の作成についての提案協議
結 論 （決定した方針等）	・提言書案の内容について、委員の意見を踏まえ修正を行う。
協議経過・概要	<p>1 開 会</p> <p>※半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告 （全委員12人中、出席者6人）</p> <p>2 課長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流型のコミュニティ・スクールをテーマとして、提言書または報告書の作成について <p>事務局：資料1資料2について、前回の社会教育委員会議の内容確認および、委員からいただいた提案意見のとりまとめを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの認知向上 ・コミュニティ・スクールへの子どもの意見の反映 ・事業評価の実施 ・学校での居場所づくり <p>令和3・4年度の活動を踏まえ、提言書または報告書を作成するが、前回の委員会の意見を受けて、事務局としては提言書の作成を提案する。</p> <p>⇒委員の同意を得る。</p> <p>提言書の作成とする。</p> <p>資料3について説明する。「はじめに」「社会教育委員の活動内容」「課題」「提言」の4つに区分して作成している。</p> <p>課題や提言項目の追加削除や記載する委員の意見、文章校正などについて意見をいただきたい。</p> <p>「はじめに」は研究テーマ設定の理由を記載している。</p> <p>「課題」については、前回の社会教育委員会議の意見を基に作成し</p>

	<p>ている。委員からコミュニティ・スクールの発展段階について、目標が無いと現状維持で次のステップに進めないとの意見を受け作成した。</p> <p>「提言」については、課題に対応する解決方法として、提案を行うことを想定している。</p> <p>委員長：事務局から説明をいただいた。補足で説明すると伊吹山中学校は先進的な活動をしていて、未来のリーダーを育成する活動をしている。ジュニア民生委員児童委員の活動は学校運営協議会委員の意見から実施された事業だ。他の学校もこのような協働活動を目指してほしい。最終的には多世代交流型へ発展させてもらいたい。</p> <p>「提言」について、社会教育委員として教育委員会に課題を解決するための改善案を提示したいので意見をいただきたい。</p> <p>私の意見として、学校の空き教室を利用して交流の場をつくりたい。コミュニティ・スクールの知名度向上には、伊吹山テレビを活用して保護者以外にも発信したい。</p> <p>また、事業を行う上で学校の負担は大きいため、学校の負担を軽減できる施策として、事務を受けてもらえる職員の配置など学校現場だけではなく行政にも検討してもらいたい。</p> <p>教育委員と社会教育委員の意見交換会を行いたいと思っているが、他の委員の意見が聞きたい。</p> <p>委員：「提言」について、社会教育委員があまり高い条件を求めすぎない方が良くはないか。すべての学校に統一の具体案を提示するより、学校運営協議会に考えてもらえる内容にとどめて、多世代交流型への発展を中心に提言してはどうか。</p> <p>また、学校運営協議会同士の交流は行われているのか。</p> <p>事務局：学校運営協議会、地域学校協働活動委員向けの学習会が行われていることは把握しているが、学校を超えた学校運営協議会委員同士の交流が行われているかは把握していない。</p> <p>委員：具体的な方策は学校運営協議会で考えてもらった方がよいのではないか。</p> <p>委員：「提言」が強くなりすぎて、学校の個性を消してしまわないか。学校運営協議会で考えてもらえるような記載にしてはどうか。</p> <p>委員：「提言」に出した内容を学校運営協議会が取捨選択して実践してもらえれば良いと思う。</p> <p>委員：ゴールは多世代交流型を目指すということだと思うが、PR がもっとも大切だと思う。学校同士、子ども同士も他の学校が何をしているのか知らないのではないか。</p>
--	---

